

キリンビバレッジバリューベンダー 日本リーグ選手権ビッグ

過去には異名カッター出世騒ぎが起きるなど歴史を作ってきた本大会は今年から「日本リーグ選手権ビッグトーナメント」として名称を改め、日本リーグ加盟チーム所属選手全員が出場できる大会となった。さらに、今大会よりダブルス種目が新設された。(女子シングルのベストは前年度にシード権付与と同時期に実施されたため、ベストは個人と異なる)



準優勝 田代早紀 (日本ペイントホールディングス)
全日本選手権で4年連続に優勝し、2年連続で世界選手権でも優勝した。

女子1・2位トーナメント



女子優勝 松澤東里奈 (十六銀行)
嬉しい得意技、打点の早い、鋭い腕ハンドで得点を重ね、特にノータッチを習うノックストレートカウンターが光っていた。



永尾亮子 (デンソー)



平俣里香 (サンリツ)



東原佳 (中野電力)



加藤知秋 (十六銀行)



北本美穂 (中野電力)

女子ダブルス1・2位トーナメント



準優勝 加藤知秋(左) 加藤吉香(右) (十六銀行)
向かい合った時のペアは、互いにチャンスメイクし合い、チャンスをつかっていた。



優勝 平俣里香(左) 松本美希(右) (サンリツ)
両選手が得意なバックハンドドライブを軸に、お互いにチャンスメイクし合い、チャンスをつかっていた。

4月5~7日
宮城県気仙沼市 気仙沼大会

トーナメント 仙台大会



大会使用球
ニッタクアススタープレーブーム

男子1・2位トーナメント



男子優勝 松平賢二 (宮城県サンリツ)

6年ぶりの血闘の優勝を挙げた。決勝の平野明は、鋭いバックハンドドライブで勝負ゲームまでもつれる展開となったが、フットワークを生かして積極的にフォアで攻め切った。



松平賢二が
接戦を制して
3度目のV

Men's



準優勝 平野明 (宮城県サンリツ)
バックハンドで強さを発揮するが、試合後半はミスが目立った。



町原良平 (シチズン時計)



藤原良平 (Vコー)



3位 上村慶隆 (シチズン時計)
新人ながらコッパ入賞と快挙。思い切ったドライブで得点を重ねた。



3位 高木和卓 (東武アース)
威力のあるフォアドライブが武器。ベテランの力を見せつけた。



高村友希 (日産自動車)



藤本祥二 (日産自動車)

男子ダブルス1・2位トーナメント



準優勝 藤村友也(左) 後下海剛(右) (日産自動車)
大会最高得点のダブルスペアに期待されていた。



優勝 藤田信輔(左) 神巧也(右) (シチズン時計)
コンビネーション抜群のダブルスペアに期待されていた。